

意外と恐ろしい夏の結露とその対策とは

わくわく通信

発行人
株式会社ホーム&ヒューマン・ナビ
代表取締役 安保隆
太白区山田自由ヶ丘44-6
TEL(022)307-3884
FAX(022)307-3885



リフォームごぼれ話(夏の結露編)

結露といえば、冬の寒い時期のガラス面を思い浮かべますが、暑い時期にも結露が発生します。放置すると木材を腐らせたり、断熱材に浸透し、断熱効果を悪化させる原因になりますので、注意が必要です。

この時期によく見られるのがトイレの結露です。便器の結露は、空気中に含まれる水蒸気が、便器やタンク、あるいは水道管の表面で冷やされることによって凝結する現象



です。湿度が高く、水温と室温の差が大きいほど生じやすくなります。トイレ内の水道管にも同様の原因で結露が発生します。ひどい場合には流れて落ちて床まで濡らしてしまふことがあります(写真上) 放置しておく、便器取り付け部分から浸透し木部を腐らせます。気付いたらすぐに拭き取るようにしてください。また換気扇を回したり窓を開けたりして、トイレの換気をすることにより



結露しにくくなります。なお、最近の便器には本体内に断熱材が入っていて、結露がしにくい防露便器になっています。あまり結露がひどい場合は便器の交換を検討したほうが良さそうです。

夏の結露は冬と違って目に触れない部分に生ずることがあります。床下の結露は、湿った温かい外気が床下のひんやりとした空気に冷やされることによって発生します。

地面からの湿気を防ぐために敷いたビニールシートが水たまりになっていた例もあります。気付かず長年放置していると土台や大引などの木部を腐らせシロアリが発生させる原因にも繋がります。

(写真下) 経験上、住宅密集地や周囲に田んぼがある、床下の地面が家の周りの地面より低い場合に発生しやすいようです。床下収納庫や点検口がある場合は、たまに点検してみることをお勧めします。対処方法は床下換気扇や調湿材の使用ですが、換気扇3台で10万程度で済む仕事を40万もの高額の金額をふっかける業者もいますのでご注意ください。

湿気の発生場所は、浴室や洗面室、キッチンなどの水まわりを中心に家の中には多くあります。タンス、戸棚、本棚、ベッド、ソファなどが壁に接していると、家具の背後で空気がよどみ、建材や家具に水蒸気が吸収さ

れてカビが発生しやすくなります。空気の循環を良くするために2cm以上の隙間を空けることでジメジメを緩和されます。押入れや戸棚、下駄箱などは密閉空間なので空気がよどみ、結露が起りやすい場所です。結露防止には常に空気が流入している状態を作り出すことです。わずかの隙間でもいいので、扉を常に開けておくことが有効です。スノコの使用も非常に有効です。結露対策には夏冬問わず換気が非常に有効です。キッチンのレンジフード換気扇や浴室の換気扇は出来れば24時間まわしておくことが望ましいです。是非実行してみてください。

夏の感謝祭開催中

「夏の感謝祭」開催中です。お盆休み前に夢のリフォームを実現させませんか。住宅版エコポイントや住宅特定改修税額控除とともにどうぞ活用ください。浴室工事はTOTOシステムバス

「サザナ」本体50%引き、INAXシステムバス「ラ・バス」は本体60%引きでご奉仕させていただきます。他にもノーリツ・リンナイガス給湯器が各種50%引き、システムキッチン40%引き、便

器30%引き等たくさんのお買い得商品を取り揃えております(価格はすべて商品価格のみで工事費は別途かかります) 屋根・外壁やその他の工事も通常価格から5%引きサービスを行っております。どうぞご利用ください。現場調査・見積無料。電話(307)3884

編集長の独り言

現代の日本では『牛乳健康』というイメージが根強くあります。学校給食でも今でも多くの学校で牛乳が出てきますし、私も小さい頃から「健康のために牛乳を飲みなさい」と親や学校の先生などから言われてきました。本当に牛乳健康なのでしょうか？

第二次世界大戦終了後、アメリカは日本をアメリカの産業拠点とするために、まず日本の食産業に目をつけました。

会社案内

株式会社ホーム&ヒューマン・ナビは住宅・マンション・リフォーム専門店です。「お客様からいただいた金額以上の満足感」をモットーに「住宅と住む人への愛」を基本に仕事をさせていただいております。社長自ら現場調査、工

つまり、洋食を導入しようという事です。牛乳はその一環として、日本に入ってきました。ところが牛乳産業を押し進めていった結果、膨大な量の牛乳を余らせることになってしまい、困った政府は需要と供給のバランスを取るための方策として、全国の小中学校の給食に牛乳を配給することを決めました。それと共に、牛乳は重要なカルシウム源と認識させ、カルシウム不足を恐れさせ「牛乳を飲めば健康になる」「牛乳を飲まないとカルシウム不足になり病気になる」と思い込ませたのです。

高齡化とともに骨粗鬆症一千万人時代を迎えた日本では、何はなくてもカルシウムとばかりに牛乳が奨励されています。確かに牛乳二〇〇グラムには二〇〇ミリグラムのカルシウムが含まれており、一日に三本の牛乳を飲めば厚労省の規定する一日所要量六〇〇ミリグラムが摂取できる計算になります。ところが、近年、牛乳の多飲が、骨粗鬆症の予防に効果がないばかりか、骨の脆弱化を助長しているという見方が有力になっていきます。牛乳には人間の食品としては、いくつかの問題があることがわかってきま

した。そのうちのひとつが、牛乳に含まれるカルシウム「カゼイン」は、人間の消化吸収には適していないことです。牛乳を飲むと、牛乳に含まれるカルシウムが人体に必要なカルシウムを連れ出して体外に流出させてしまいます。そのため、ミルクや牛乳を飲めば飲むほど体内のカルシウムが不足して虫歯や複雑骨折が多く見られるようになります。

「骨粗鬆症の予防には牛乳」という認識は実は間違いではないかと言われるようになったのです。その証拠として、世界でもっとも乳製品の消費量

が多いノルウェー、オランダ、フィンランドの三カ国は、世界中で最も骨粗鬆症患者が多いのです。また、牛乳はアトピー性皮膚炎やアレルギーを引き起こす原因にもなります。牛乳のタンパク質は分子が小さく直接血中に吸収された牛乳に含まれるカゼインがアレルギー反応を起こしやすい物質であることが上げられます。乳幼児の頃から、牛乳を与えられて育つと、アレルギーの起きる確立は更に高まるそうです。

日本では昭和29年に学校給食法が施行、昭和33年に学校給食に牛乳が取り入れられました。

その数年後からアトピー性皮膚炎や喘息の増加が顕著になり、十数年後から貧血、糖尿病、白内障、骨粗鬆症などが増加傾向を見せ始めたのは偶然の一致とも思えません。日本における「牛乳神話」の確立の背景にはアメリカの食料戦略があり、給食での牛乳・脱脂粉乳とパンの導入もその一環でした。もちろんGHIQの判断は、当時の栄養的配慮としては正しかったと言えるだろうし、大袈裟に言えば戦後の日本人の体位の向上に相当の役割を果たしたという意見もあります。

しかし当のアメリカでは、牛乳の効能に対しては懐疑的で82年に米連邦議会の調査機関である全米調査委員会が、癌予防のために肉・乳製品の摂取を控えるべきと報告。さらに99年にハーバード大学の広範な調査により牛乳と乳製品が前立腺癌の危険性を30%以上増加するという学説が発表されました。現在アメリカでは少なくとも乳幼児と妊婦、授乳中の母親に牛乳と乳製品を勧めないというのは保健衛生の専門家の常識になっています。そして、心ある医師の多くは、患者になるべく牛乳は飲まないほうがよいというアドバイスを与えていると言います。

そういった近年の状況の変化にもかかわらず、わが国の厚労省はその方向性を変えず、牛乳神話の温存を図り続けています。この責任は重い。

事管理、アフターを行う事で間違った、高精度の工事をお約束いたします。工事保障保険加入により、アフターサービス及び工事保障も万全です。《営業種目》
住宅リフォーム工事(設計・施工)
マンションリフォーム工事(設計・施工)
バリアフリー工事(費用補助申請代行いたします)

ガス給湯器・エコキュート・電気温水器設置工事
風呂・キッチン・トイレ等水回りリフォーム工事
塗装工事
屋根・外壁・雨樋工事
内装工事
サンルーム・テラス・フェンスエクステリア工事
太陽光発電機器設置工事
他修理、小工事等、家のことならなんでもご相談ください。

◎二級建築士事務所登録(宮)第16391号
◎見積無料で作成します。
電話(307)3884
お気軽にご連絡ください
◎「わくわく通信」バックナンバーは当社ホームページですべてご覧いただけます。グーグル検索、ヤフー検索とも『株式会社ホーム&ヒューマン・ナビ』でトップで検索できます。